

海外感染症流行情報 2026 年 6 月

(1) 全世界: インフルエンザと COVID-19 の流行状況

南半球の温帯は冬に入っており、アルゼンチン、チリ、南アフリカなどでインフルエンザの患者数が増加しています (WHO Influenza 26-6-17)。アジアでもシンガポール、インド、スリランカで、この 1 ヶ月、患者数の増加がみられます (WHO 西太平洋 26-6-17、WHO 南東アジア 26-6-17)。

COVID-19 については、6 月時点で世界的に大きな流行はみられていませんが、シンガポールやフィリピンで患者数がやや増えています (WHO 西太平洋 26-6-17)。ここ数年、北半球の温帯では COVID-19 の夏の流行が発生しており、今後も患者数の変化について監視が必要です。なお、現時点で特に増えている変異株はありません (WHO COVID-19 dashboard 26-5-10)。

(2) アジア: アジアでの Dengue 熱流行状況

アジア各地で雨季が始まり、蚊に媒介される Dengue 熱の患者数が増加しています。今年はマレーシア、ベトナム、スリランカ、モルジブなどで、例年より患者数が多く、とくにスリランカでは 4 万人以上になっています (WHO 西太平洋 26-6-11、WHO 南東アジア 26-6-17)。アジアではこれから本格的な雨季になるため、Dengue 熱の流行地域では蚊に刺されない対策を十分に行う必要があります。

(3) アジア: 南アジアでの麻疹流行

今年は南アジアで麻疹患者が急増しています。バングラデッシュでは 3 月から 6 月までに、小児を中心に 8 万人を超える患者 (疑いを含む) が発生し、500 人以上が死亡しました (WHO 南東アジア 26-6-17)。インドやパキスタンでも今年は 2 万人の患者が報告されています (WHO Measle and Rubella

Global Situation Update 26-6)。日本からの渡航者で、過去に麻疹の感染歴がなく、ワクチンを2回接種していない人は、渡航前にワクチンの追加接種を受けておくことを推奨します。

(4) アフリカ: コンゴ民主共和国でのエボラ出血熱の流行

コンゴ民主共和国の北東部で発生しているエボラ出血熱の流行は6月も続いています。6月下旬までの患者数は1000人を超え、245人が死亡しました(英国 National Travel Health Network Center 26-6-22)。隣国のウガンダでも20人の患者が確認されています。今回は流行が確認されるまでに時間を要したことや、流行地域の治安が不安定であることなどにより、制圧が遅れている模様です。

(5) 北米: W杯北中米大会で注意する感染症

6月から7月にかけて、米国、カナダ、メキシコの16都市でW杯北中米大会が開催されています。こうした世界的なスポーツ大会では、試合会場などで感染症の流行が発生するリスクがあるため、現地で観戦する人は注意が必要です(厚生労働省検疫所 26-6-12)。今年は米国、カナダ、メキシコで麻疹の患者数が増えており、このイベントを契機にさらに拡大する可能性があります。

(6) 南米: 黄熱の患者数が増加

ブラジルでは今年に入り黄熱の患者が11人報告され、6人が死亡しました(英国 National Travel Health Network Center 26-6-9)。このうち9人はサンパウロ州での発生です。コロンビアでも今年前半で52人の患者が報告され、26人が死亡しました(ボストン大学 BEACON 26-6-19)。患者発生は同国中西部のトリマで多くなっています。黄熱流行国に滞在する渡航者には、黄熱ワクチンの接種を強く推奨します。